

JR九州連合情報

JR九州連合 第32回定期大会

JR九州グループ労働組合連合会（JR九州連合）は11月25日、「JR連合結成30年を次代への起点に据え、将来に希望が持てるJR九州グループを創造しよう！」とのスローガンを掲げ、福岡市内において第32回定期大会を開催した。

幹事会を代表して挨拶した芦原秀己会長（JR九州労組・中央執行委員長）は、安全の確立、組織の強化・拡大、諸労働条件の回復、政策課題実現に向けた取り組みの3点について課題を述べ、コロナ禍において加盟各単組の置かれた状況はそれぞれ違うが、一刻も早くこの苦境を克服して攻勢に転じるべく、将来を見据えた議論を深め、組合員の不安を解消できるよう、九州連合加盟全単組が連帯して取り組みを展開していこうと訴えた。

来賓には、JR連合から荻山市朗会長と鎗光俊勝労働政策局長にご出席していただき、荻山会長からは連帯のご挨拶を、鎗光局長からは、大会前段の学習会の講師を務めていただいた。

議事では、2021年度活動経過報告、決算報告、会計監査報告が行われ、その後、2022年度活動方針案、2022年度予算案が提案され、全議案は満場一致で決定した。吉田春菜事務局長は総括答弁の中で、引き続き政策課題の解決に向けて政治に関する意識を組織全体で高めていくことやJR連合が新たに策定した「第4次男女平等参画推進行動目標」の達成に向けての協力を要請し、最後に芦原会長の団結がんばろうで閉会した。



芦原会長のあいさつに真剣に聞き入る参加者

JR連合による学習会を同時開催（内容：次なる30年にむけた新たな提言、2023春闘にむけた考え方）



JR連合 鎗光局長

連携・連帯して頂いている「働く仲間」、会社、行政、政治、すべての関係者とともに「ONETEAM」となって、社会に貢献し続ける、強くしなやかなJR産業を創っていきましょう！

次なる30年の強くしなやかな
JR産業を創る5提言

～「ONE TEAM」となり
誇りを持って社会に貢献し続けるために～

日本鉄道労働組合連合会（JR連合）

2023春季生活闘争にむけた考え方

～くらしをまもり、未来をつくる。～

1. 2023春季生活闘争を取り巻く情勢
2. 2023春季生活闘争のポイント

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION JR連合

JR連合ふれあいキャンペーン ホテルオークラJRハウステンボス

JR連合・JR九州連合では、加盟組合の会社が運営している施設や店舗を紹介して利用促進を促し、働いている仲間を応援するキャンペーンを実施中です。全組合員一丸となってコロナによる経営危機を克服しよう！

ホテルオークラJRハウステンボスでは、今年もホテルのパティシエによる素敵なクリスマスケーキを準備しています。クリスマスには、特別感のあるケーキを食べてみませんか！？



ケーキは、イチゴの載った定番ショートケーキやチョコレートケーキなど全部で3種類。数に限りがありますので、予約はお早めに！



※画像はホテルオークラJRハウステンボスHPより

詳しくはHPをご覧ください ▶ [クリスマスケーキ2022](#)